

2019年8月11日(日)14時~16時 浦上天主堂にて

## 平和を祈る音楽会 (2014年より毎年開催、今回第6回目になります)

### プログラム

♪ あいさつ

堤 寛(つつみ病理相談所、病理医、平和を祈る音楽会実行委員長)

♪ オーボエ: 堤 寛 & オルガン伴奏: 堤佐代子

カッチーニ: アヴェ・マリア

バッハ: アダージョ

グノー: アヴェ・マリア

シューベルト: アヴェ・マリア

バッハ: G線上のアリア

バッハ: アリア(マタイ受難曲, Erbarme dich, mein Gott)

♪ 尺八: 岸本寿男(公益財団法人岡山県健康づくり財団健康づくり総合センター保健部長・附属診療所長)

イギリス民謡: アメージング・グレース

ガーシュウィン: サマータイム

岸本寿男: 風になろう

岸本寿男: Sky & Wind

久石譲: もののけ姫

♪ ピアノ: 大井手 慶(焼津市民病院病理診断科)

バッハ: 主よ人の望みの喜びよ

ショパン: エオリアンハープ

エルガー: エニグマ変奏曲より ニムロッド、フィナーレ

リスト: ラ・カンパネラ

♪ 長崎大学医学部室内合奏団

バイオリン: 富田夏帆 寺田真理 ビオラ: 姫野佳歩 ピアノ: 佐久間柚里

クラリネット: 塚田凜、斉藤淳哉 チェロ: 鈴木莉乃、山本峻太郎

メンデルスゾーン: 2本のクラリネットのための演奏会用小品第1番

ハイドン: ロンドントリオ 3番 第1楽章

バッハ: 主よ人の望みの喜びよ

ポッパー: op16 第3楽章

バッハ: 無伴奏パルティータ第2番よりアルマンド

ハルヴォルセン: ヘンデルの主題によるパッサカリア

## 出演者の紹介

### ♪オーボエ：堤 寛(Tsutsumi Yutaka)

1951年横浜市生まれ。1976年慶應義塾大学医学部卒。医師(病理医)。1980年同大学院修了。東海大学医学部に21年在籍ののち2001年6月より2017年3月まで、藤田保健衛生大学医学部病理学教授。2009年よりNPO法人びあサポートわかば会監事。患者さんに「顔のみえる病理医」でありたいと、患者さんのそばにいるプロの病理医として行動し続けている。趣味のオーボエ演奏は、細々と続けて28年目。もと東京フィルハーモニーのオーボエ奏者湊貞男氏に師事している。2014年に「平和を祈る音楽会実行委員会」を立ち上げ、以後、毎年8月に浦上天主堂(長崎)にて「平和を祈る音楽会」を開催している。現在、熱海市在住。SAYOKOとのDUOは、2003年から始め、ひとの輪、平和の和を広げようと、「輪の和」コンサート、トーク&ライブなど、各地で開催してきた。ひとの輪、平和の和を作ろうという「輪の和」コンサートとしては64回目、浦上天主堂では今回6回目になる。

HP ⇒ <http://pathos223.com> お問い合わせ ⇒ [pathos223@kind.ocn.ne.jp](mailto:pathos223@kind.ocn.ne.jp)

### ♪ピアノ伴奏：堤 佐代子(Tsutsumi Sayoko)

1956年愛知県大府市生まれ。私立南山中高大卒業。5歳よりピアノを習い始め音大目指して練習した時期もあったが断念。以後、趣味としてピアノ演奏を楽しんでいる。2003年より堤寛のオーボエのピアノ伴奏を開始した。以後、NPO法人びあサポートわかば会における、がん患者支援活動、ピア・サポート(仲間同士の助け合い)を推進する活動の一環として、音楽を通じて人と人が繋がることを目指して、各地で市民や医療者と共に音楽会を催してきた。2014年、堤寛の旧知の先輩病理医であったもと長崎大学学長故土山秀夫先生と長崎にて再会し、被爆体験等をさく機会を得て、平和の大切さを思い知ることとなった。以後、被爆地長崎で平和を祈る音楽会をしようと、浦上天主堂にて「平和を祈る音楽会」を開催するメンバーになった。

### ♪尺八：岸本寿男(Kishimoto Toshio)

1954年高知県生まれ。尺八奏者・医師。川崎医科大学卒。国立感染症研究所室長、岡山県環境保健センター所長を経て、現在、公益財団法人岡山県健康づくり財団健康づくり総合センター保健部長・附属診療所長。13歳から尺八を始め、都山流師範に。1980年代から尺八とギターのデュオを結成し、オリジナル曲の演奏を始める。1993年、米国ワシントン大学留学中に、シアトル在住の彫刻家・ジョージ葛川氏のテレビドキュメンタリー番組の挿入曲の作曲と尺八演奏を担当して「1994年度米国北西地域エミー賞作曲賞」を受賞。1996年、CD『Sky&Wind』、2004年CD『Memories』発表。病院やホスピス、福祉施設等での演奏をする傍ら、音楽療法にも係わり、2004年、大会長として日本音楽療法学会全国大会を岡山で開催。2009年、ギタリスト田中彬博氏とデュオオリジナルCD『夜が明けたら』を発表。国も時代も軽々と超えていくジャジーでソウルフルな演奏は、古典楽器としてのイメージを鮮やかに塗り替え、「尺八」の新たな世界を拓いている。

### ♪ピアノ：大井手慶(Oide Kei)

東京大学医学部卒(2007年)。米国ロサンゼルス生まれ。4歳よりピアノを始める。2009年夏、モスクワ音楽院でProf. Yuri Slesarevのマスタークラス受講。2011年、International College of Music Hamburg シニアスタディ課程(Prof. Manfred Fock)を修了(ドイツ各地でコンサート開催)。2016年、ロンドンでソロリサイタル、E. ハーツェル氏の新曲を世界初演。第12回万里の長城杯国際音楽コンクール第2位入賞。第16回シヨパン国際ピアノコンクール in Asia 銀賞(コンチェルトC部門)。第20回中山みどりアートハウスコンクール優勝後に、ピアノリサイタル開催(2016年)。2017年、ロンドンにてナイツブリッジ管弦楽団とシヨパン ピアノ協奏曲第1番を共演。これまでにピアノを鈴木トヨミ、平本恵子、中山みどり、Manfred Fockの各氏に師事。ソロ・室内楽ともに、国内外で演奏活動を続けている。現在、静岡県の焼津市立総合病院で病理医として勤務。